

チーム医療で支える あなたの背骨と未来

信愛会脊椎脊髄センターは、2013年に暇生会脳神経外科病院に新設され、2015年より大阪府交野市の交野病院にも併設されました。整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科などの複数の診療科が連携し、腰痛や手足のしびれといった身近な症状から、高度な脊椎脊髄手術まで幅広く対応しています。年間1000件を超える手術実績を有し、最新の医療機器を活用した正確な診断と、安全性に配慮した低侵襲手術（身体への負担が少ない手術）を積極的に導入。医師・看護師・理学療法士が一体となり、患者さま一人ひとりに合わせた治療と生活支援を行っています。

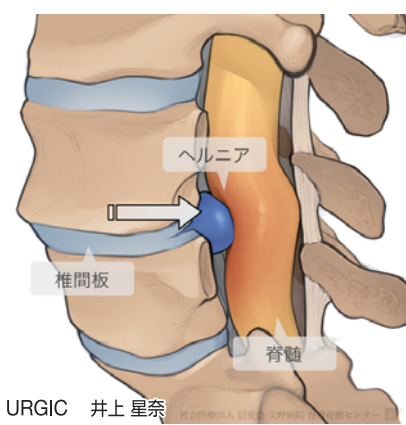
私たちは法人の理念である「徳のある医療の実践」のもと、地域に根ざした専門センターとして、安心して治療を受けていただける環境づくりに努めています。本広告では、患者さまの実際の症例をもとに、脊椎脊髄疾患の特徴や最新の治療についてわかりやすくご紹介いたします。皆さまの健康づくりに少しでもお役立ていただければ幸いです。

腰痛・しびれ・歩きにくさ—— 年齢のせいとあきらめていませんか？

私たちの背骨には神経が通っており、体を動かしたり感覚を伝えたりする大切な役割を担っています。こうした神経に障害が生じると、痛みやしびれ、歩行のしづらさなどにつながります。正しい知識と適切な治療によって、生活の質を守ることができると可能性があります。

椎間板ヘルニア

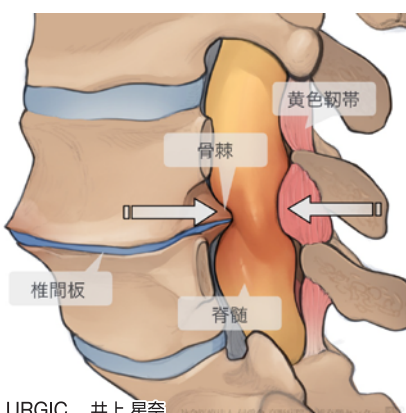
椎間板ヘルニアは、椎間板の一部が飛び出し、神経を圧迫することで起こる病気です。比較的若い世代から中年層に多く見られ、腰から足にかけての痛みやしびれを引き起こすことがあります。症状が強い場合には、低侵襲手術を含む治療が選択される場合があります。また、長時間の不良姿勢を避け、体幹の筋力を鍛えるストレッチや運動を行い、過度な重量物を持たないことが再発予防につながります。



URGIC 井上 星奈

腰部脊柱管狭窄症

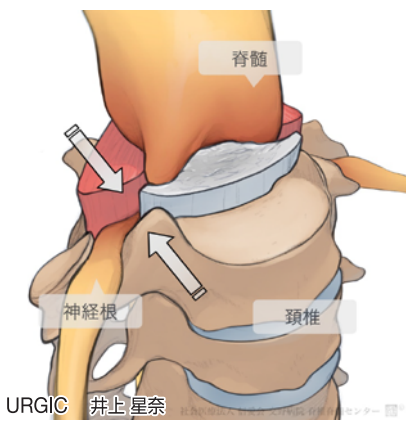
腰部脊柱管狭窄症は、脊柱管が加齢や変形などで狭くなることで、そこを通る神経が圧迫される病気です。代表的な症状は、間欠性跛行と呼ばれる一定の距離を歩くと腰や足にしびれやだるさを感じ、休むと症状が軽くなるのが特徴です。初期には軽い違和感や疲れやすさとして現れることもあり、日常生活では長時間の歩行や立位が難しくなることがあります。高齢者に多く見られますが、適切な運動療法や姿勢改善、必要に応じて薬物治療や手術を組み合わせて、症状の改善や生活の質の維持が期待できます。日常的に無理のないウォーキングを行い、下肢の筋力を保つ運動や姿勢の改善（猫背を避ける）を心がけることも、症状の軽減や再発予防につながる可能性があります。



URGIC 井上 星奈

頸椎症性脊髄症

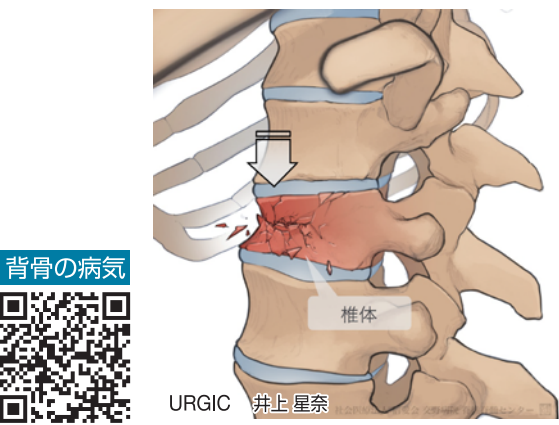
頸椎症性脊髄症は、加齢や首の骨の変形（頸椎の変性）により脊髄が圧迫されることで起こる病気です。脊髄は手足の運動や感覚をつかさどる神経の通り道であるため、圧迫が進むと手足のしびれや脱力、細かい作業がしにくくなる症状が現れる場合があります。具体的には、ボタンを留めにくい、箸が使いにくい、ペットボトルのキャップを開けにくいなどの日常生活動作への支障が起こる可能性があります。さらに進行すると歩行が不安定になり、加えて、膀胱や直腸に障害が発生し、頻尿・開始遅延・失禁（すること）もあります。こうした症状が現れたときは、早期の手術が必要である事が多く、症状は徐々に進行するため、自覚症状が軽いうちに医療機関で評価を受けることが重要です。適切な治療や生活上の工夫により、症状の進行を遅らせ、生活の質を維持することが可能である場合があります。



URGIC 井上 星奈

椎体圧迫骨折

椎体圧迫骨折は、骨がもろくなる骨粗鬆症により、転倒や軽い衝撃でも背骨がぶれてしまう病気です。骨粗鬆症は骨の密度が低下し、骨が弱くなる状態で、特に高齢者や閉経後の女性に多く見られます。圧迫骨折が起こると、強い腰背部痛を伴い、背中が曲がる原因となる場合があります。初期には軽い痛みや違和感で済むこともありますが、放置すると姿勢の変化や日常生活への支障が大きくなる可能性があります。治療には安静や装具の使用、必要に応じて低侵襲手術が行われる場合もあり、再発予防には骨粗鬆症の改善が不可欠であるといわれています。カルシウムやビタミンDの摂取、日光浴、適度な運動、さらに転倒防止の環境整備に加え、定期的に骨粗鬆症の検査を受けることが、骨折のリスクを下げる重要な生活上の工夫となります。



URGIC 井上 星奈

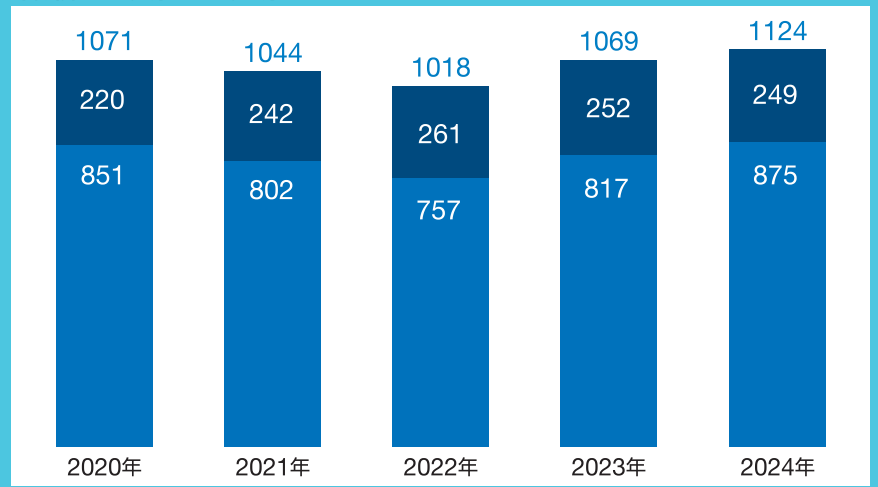


背骨の病気

手術症例数の推移

対象期間：2020年1月～2024年12月

■ 暇生会病院 ■ 交野病院



手術内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
頸椎除圧術（椎弓形成術など）	299	273	260	287	261
頸椎固定術	41	43	44	31	36
胸腰椎除圧術	386	419	418	438	474
胸腰椎固定術	188	168	158	122	135
脊髄腫瘍摘出術	19	24	20	16	13
脊椎脊髄外傷手術	87	84	80	113	138
その他	51	33	38	62	67

背骨の病気を見逃さない！

気になる症状チェックリスト
～こんな症状があったら要注意!!～

当てはまる症状をチェック☑しましょう

首・肩・腕の症状

- ☐ 首を動かすと痛みやしびれがある
- ☐ 肩こりがひどく頭痛や吐き気を伴う
- ☐ 腕や手にしびれや脱力感がある
- ☐ 箸が使いにくい、ボタンがかけにくい



背中・腰・足の症状

- ☐ 背中に慢性的な痛みや違和感がある
- ☐ 腰が痛くて長く立っていられない
- ☐ お尻や足にしびれや痛みがある
- ☐ 足がもつれやすくてつまづきやすい



日常生活の変化

- ☐ 歩くときすぐに足がたどるようになる、休むと楽になる
- ☐ 排尿や排便の感覚が鈍くなってきた
- ☐ 長時間歩くのがつらく外出が減った
- ☐ 睡眠中、痛みで目が覚めることがある

ひとつも当てはまり、症状が続いている、あるいは複数当てはまる場合、背骨の病気（脊椎疾患）が関係している可能性があります。放っておくと症状が進行し日常生活に支障をきたすこともあります。

信愛会脊椎脊髄センターでは、暇生会脳神経外科病院および交野病院にて、月曜日から「曜日まで毎日、脊椎疾患に精通した専門医が外来診療を行っています」。

「ちょっと気になる」という段階でも大丈夫です。どうぞお気軽にご相談・お問い合わせください。



初診予約

メール相談

日常生活で不便や違和感がある方、腰や背中、手足の不調がある方はぜひ当センターを受診してください。進歩する脊椎治療薬やリハビリによる保存療法に加え、低侵襲手術、内視鏡手術、ナビゲーションシステムを用いた手術まで、患者さま一人ひとりに合った治療を提案しています。手術や薬物療法では十分な効果が得られず、慢性的な痛みや悩む難治性疼痛の患者さまに対しては、脊髄電気刺激療法を積極的に取り入れています。たとえ治療が困難とされる症例でもあきらめる前に、私たちに相談ください。医師と多職種スタッフが連携し、診断から治療、回復までをトータルでサポートしています。



社会医療法人 信愛会 交野病院

〒576-0043
交野市松塚39番1号
☎072-891-0331

背骨の診療を希望される方



交野病院



社会医療法人 信愛会 暇生会脳神経外科病院

〒575-8511
四條畷市中野本町28番1号
☎072-877-6639



暇生会脳神経外科病院

脊椎脊髄疾患に挑むプロフェッショナル

